

3.5.3. Dynamics NAVからのデータ取得方法

Dynamics NAV web 接続とは違い、この接続はSQL クエリを実行し企業データベースから必要なデータを読み込みます。そのため、この接続はDynamics NAV web 接続より高速に読み込みます。

以下を説明します。:

- [統合の制限](#)
- [インポートされるデータ](#)
- [データインポートワークフロー](#)
- [インポート オプション](#)

統合の制限

Dynamics NAV web 接続と違い、この接続は単方向の統合です。GMDH Streamlineが企業データベースから一般に必要なデータをすべて読み取りますが、推奨購入オーダーをDynamics NAVに作成することはできません。

インポートされるデータ

このDynamics NAV 接続は、いくつかの事前に定義されたSQL クエリを必要に応じて[カスタマイズ](#)して利用します。GMDH Streamlineにインポートされるデータについては、[在庫管理システム](#)にて記載されています。

データインポートワークフロー

1. メニューのファイル > **新規** > **Dynamics NAV 接続**を選択します。**Dynamics NAV 接続**ダイアログが開きます(下記の図を参照)。

Dynamics NAV 接続

サーバー

データベース

企業名

ユーザー名

パスワード

開始日 2000/01/01 ▼ グループ化 月 ▼

地点の合併

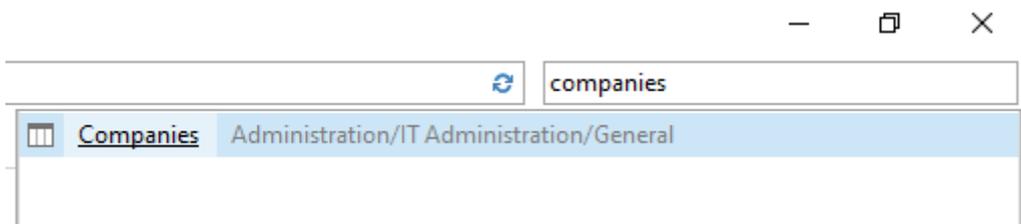
[SQLクエリの編集](#) OK キャンセル

- 稼働中のDynamics NAV サーバーのホスト名またはIPアドレスを、**Server**フィールドに入力します。リモート接続する場合は、接続権限が必要です。
- ユーザーの企業データベース名を、**データベース**フィールドに入力します。
- ユーザーの企業データベース名を、**企業名** フィールドに入力します。

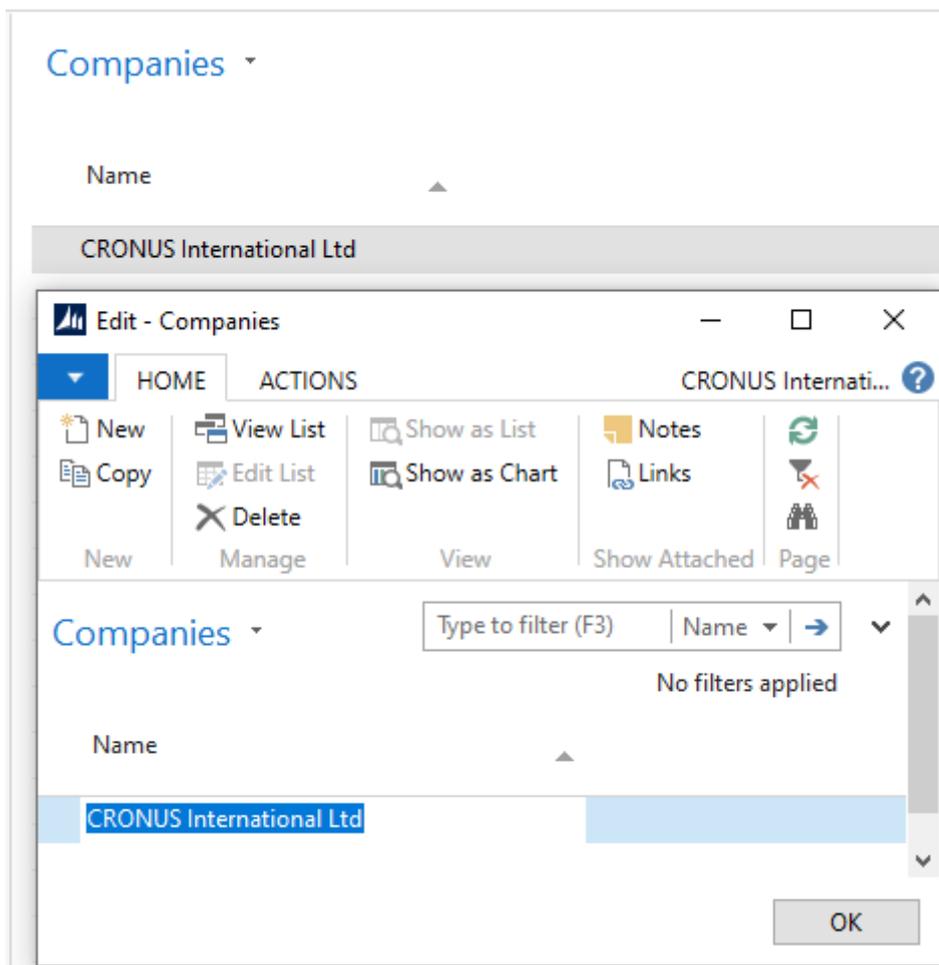
企業データベース名を見つける場合、次の手順に従います。:

4.1 Dynamics NAV クライアントを開きます。

4.2 検索バーに'companies'を入力後、表示されたリンクをクリックします(下記の図を参照)。



4.3 企業一覧から企業名をクリックします。**編集 - 企業** ダイアログが表示されます。



4.4 企業名をコピーし、GMDH Streamlineのダイアログに貼り付けます。

5. アカウントユーザー情報をユーザー名 と パスワード フィールドに入力します。

6. **開始日** コントロールにある日付フィールドからインポート開始日付の選択または入力を行います。

精度の高い予測を作成するには□GMDH Streamlineに少なくとも24か月の販売履歴を設定することを強くお勧めします

2020/09/29 06:44

7. **タイムスタンプのグループ化** コントロールにてデータ集計期間を選択します。データを設定された(日、週、月)期間で自動的に集計します。例えば、予測、補充計画や他のレポートを月単位で確認する場合、月単位でデータをグループ化します。

8. **OK**をクリックしてインポートを開始します。

インポート オプション

- **地点の合併** オプションは、すべての地点を1つにまとめることができます。このオプションは、各倉庫が並んでいるために、1つの統合された倉庫として計画をしたい場合に便利な機能です。
- デフォルトのSQL クエリをカスタマイズする必要がある場合、**SQLクエリの編集**からデータベース接続ダイアログを開きます。

[次へ: Dynamics NAV web](#)

[PDFダウンロード](#)

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:nav-connection-guide>

Last update: **2020/09/26 13:17**

